

2023年度 SBT成果報告



株式会社WOOD
LIFE COMPANY



SCOPE毎のCO2排出量 合計排出量

SCOPE1 CO2排出量

SCOPE2 CO2排出量

SCOPE3 CO2排出量

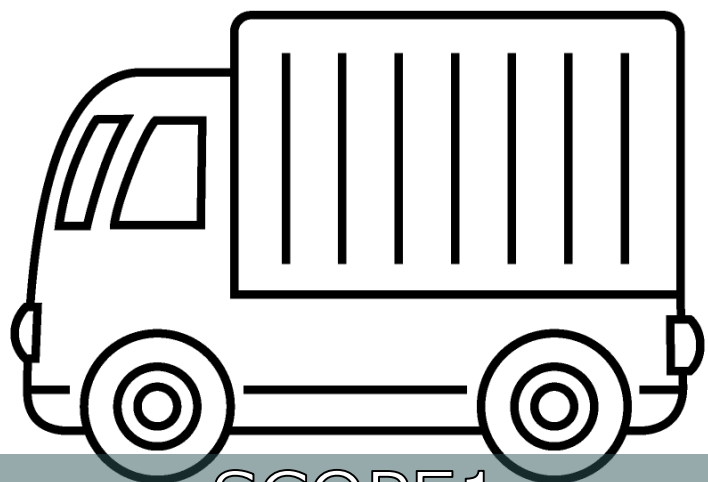


各サプライチェーンにおけるCO2排出項目 (項目 = SCOPE)

社用車の燃料（ガソリン・軽油）及び重機の燃料（軽油）、事務所の給湯に使用している都市ガスが対象

国内及び海外において自社が購入した熱・電力からの排出を算定の対象
(間接排出)

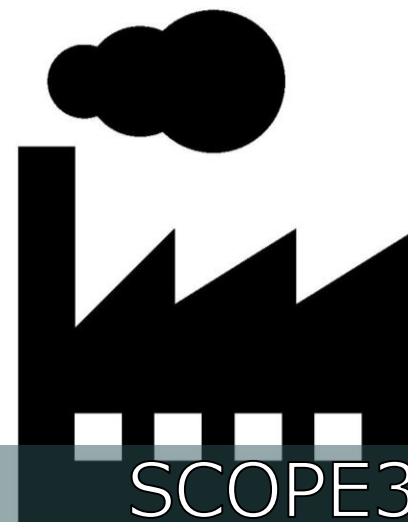
SCOPE1に含まれない搬入元から自社の工場までの輸送に伴う排出量が対象



SCOPE1



SCOPE2



SCOPE3



SCOPE毎のCO2排出量

前年より排出量が減少した理由

- ・搬入出量が減少したため、排出量も減少したが、全体に占めるスコープ3/カテゴリ4は大きい。
- ・スコープ2は2021年8月に再エネ電気導入したため、減少している。

スコープ/カテゴリ	排出量 (t-CO2)					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
サプライチェーン排出量	3022	2905	2555	1946	1985	1870
スコープ1	701	505	321	347	355	328
スコープ2	197	202	161	24	5	4
スコープ3	2124	2198	2073	1576	1625	1538



合計排出量

(サプライチェーン排出量)

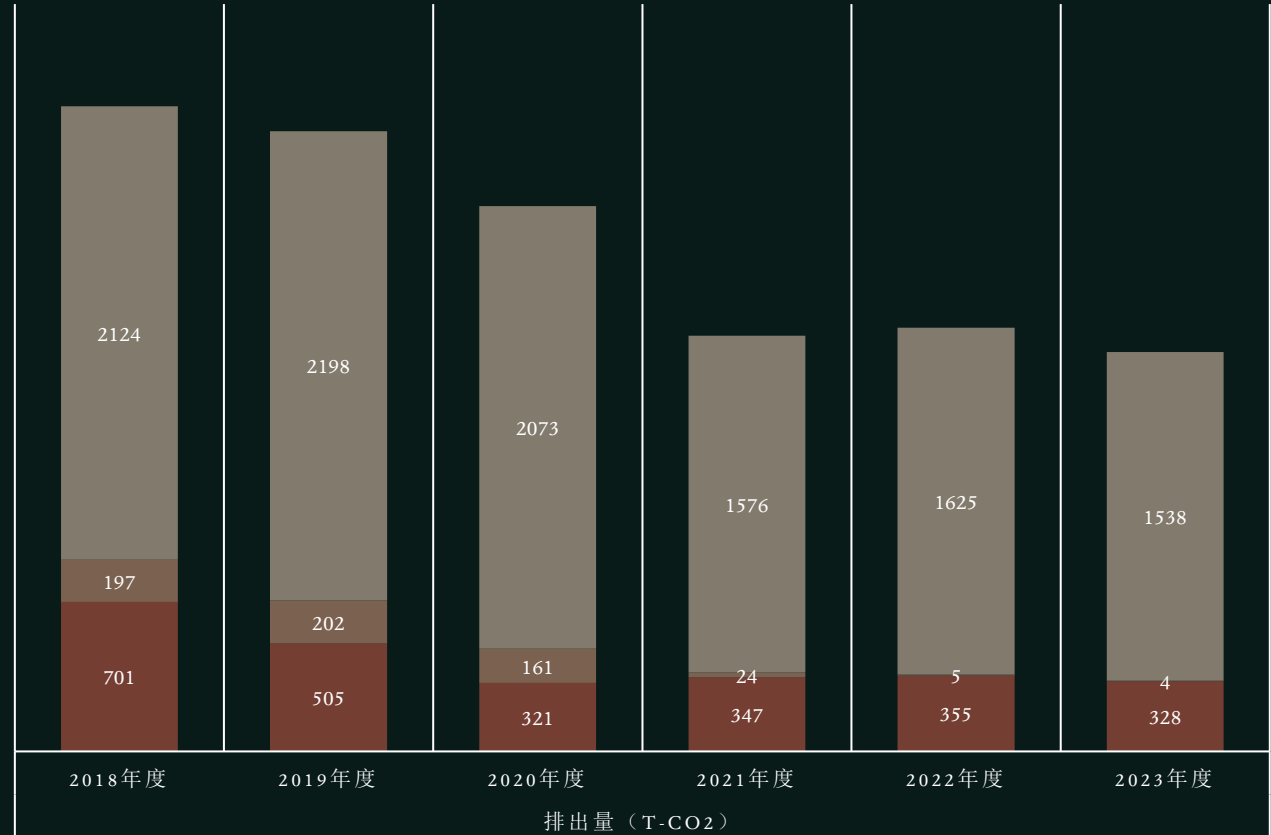
現状と課題

2018年度と比べ、2023年度は約1152t（約38%）の削減を実現している。

昨年度と比較しても、約5%減少している。

容易に取り組める再生可能エネルギーから発電される電気へ切り替えが完了したため、今後取り組む内容の検討が重要事項である。

■ スコープ1 ■ スコープ2 ■ スコープ3





SCOPE1 CO2排出量

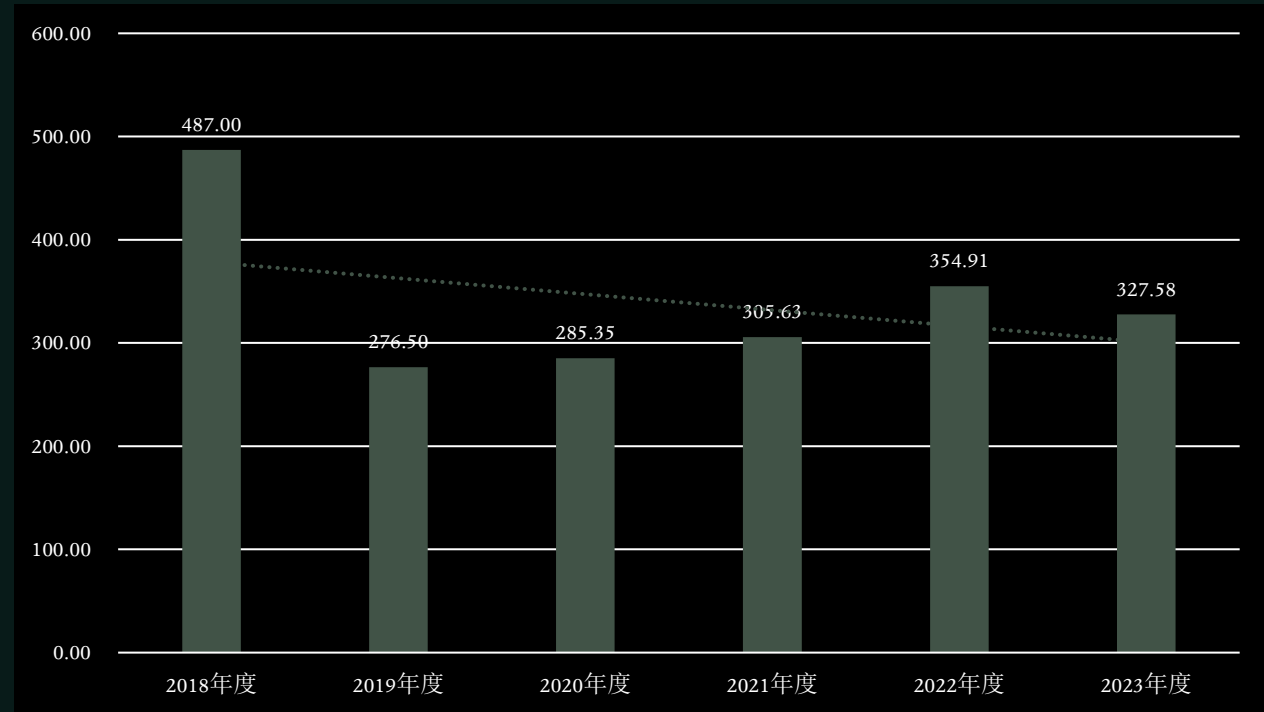
現状と課題

2018年度と比べ、2023年度は約159t（約33%）の削減を実現している。

昨年度と比較しても減少傾向にあり、さらなる削減方法の検討が重要である。

現在軽油のみを使用している重機をハイブリッド重機へ変える等の見直しが重要となる。

排出量
(t-CO2)





SCOPE2 CO2排出量

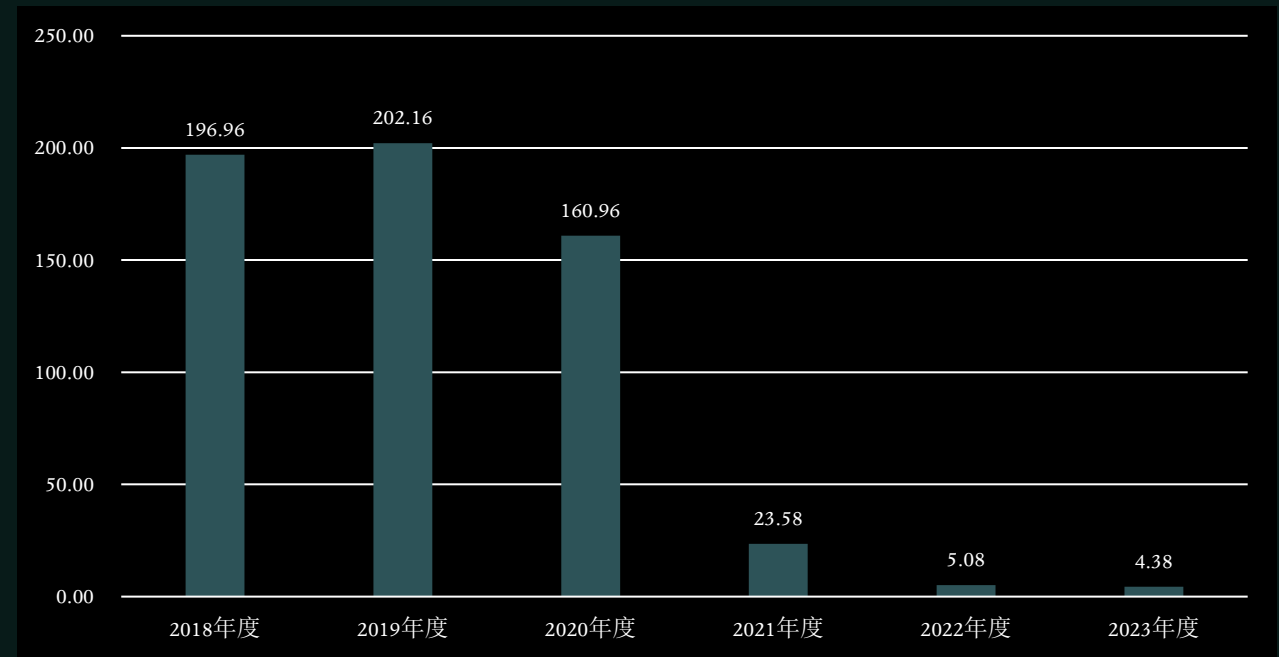
現状と課題

2018年度と比較し、2023年度は約193t（約98%）の削減である。

昨年度と比較すれば約0.7t（約14%）の削減である。

しかし、事務所使用電気は再エネではないため、今後再エネ100%の電気を導入する予定である。

排出量
(t-CO2)





SCOPE3 CO2排出量

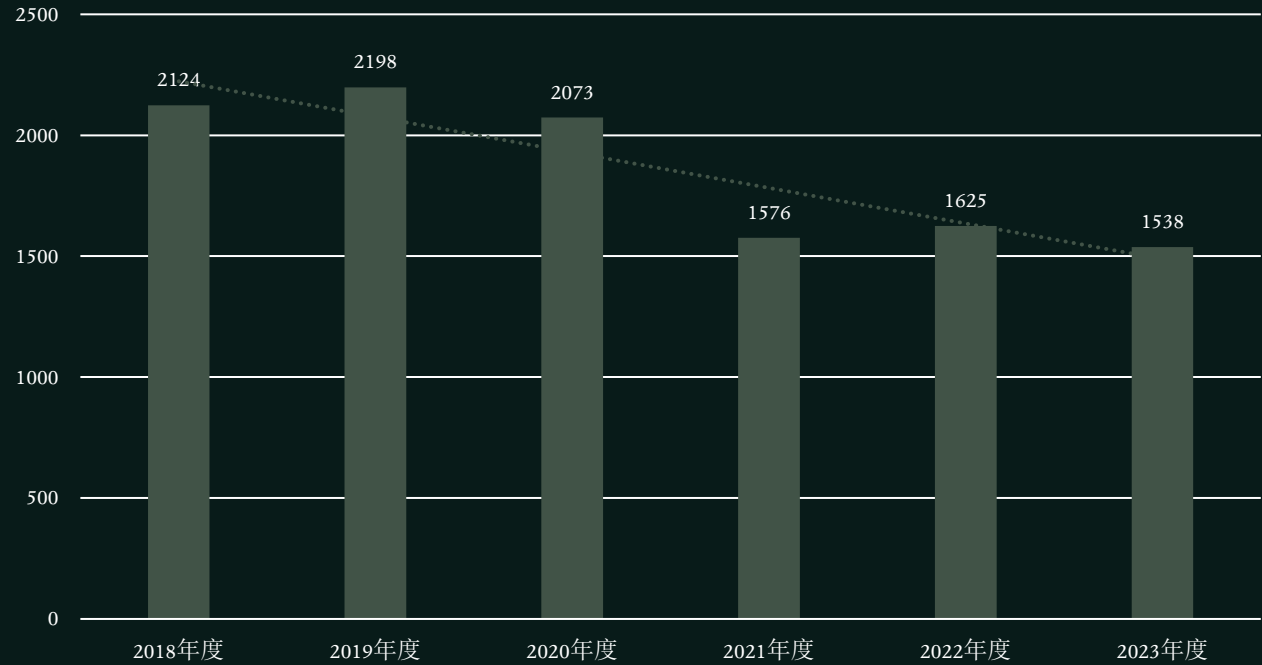
現状と課題

2018年度と比べ、2023年度は約586t（約28%）の削減を達成している。

コロナ禍より景気は回復傾向にあり、減少率はゆるやかになった。

現在、調達・出荷時に使用するトラックは全てガソリン車であり、見直す必要が大いにある。

排出量
(t-CO2)



今後の目標

- ・ 2030年までに2018年比30%の削減
- ・ 2050年までに2018年比80%の削減

- ・ 事務所へ再生可能エネルギーによって発電された電気の導入
- ・ 車両、重機等をハイブリッド機へ入替
- ・ 前年と比較し、CO2排出量の減少がゆるやかになっているため、さらなる削減方法の検討

